

科目名	幼児教育相談					単位	2.0
担当教員	井上 薫						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	4338

●授業のテーマ

幼児理解、及びカウンセリングマインドを活かした幼児教育・保育

●到達目標

子どもの強みと心配、願いを聞き取る方法を習得する。

●学習内容(授業概要)

幼児期の子どもの発達課題や特性に応じた教育・保育を進めるためには、教師・保育者が幼児と信頼関係を築いていくこと、さまざまな表現から子どもの心の動きを理解していくこと、相手の立場に立って教育・保育を進めることが必要になってくる。

そのために、まず一人ひとりの幼児を理解すること、すなわち「幼児理解」の理論と方法について学ぶ。次に、幼児期の子どもおよび保護者に対して、集団又は個別的な設定のもとで、情報収集・情報提供・面接などの方法により幼児等の現在の生活や将来の生活への準備に対して支援するために有効な教育相談の理論と方法、特にカウンセリングに関する基礎的知識と技法について学ぶ。

そして、カウンセラーがクライアントと接する時に心がけている姿勢を教育・保育に応用すること、すなわち「カウンセリングマインド」を幼児教育・保育にどう活かせるのかについて考究する。

●学習内容(授業計画)

1. 幼児教育相談を学ぶ意義
2. 幼児理解の理論と方法 (1) 幼児理解とは。発達の観点から。
3. 幼児理解の理論と方法 (2) 子どもの行為、居場所、遊び、感情表現から。
4. 幼児理解の理論と方法 (3) 集団の中の姿、気になる行為から。
5. 幼児理解の理論と方法 (4) カンファレンスによる総合化、修正。
6. 教育相談の理論と方法 (1) 教育相談とは。歴史。必要性。
7. 教育相談の理論と方法 (2) 相談体制、方法、機関連携。
8. カウンセリングの基礎知識 (1) 発展の歴史。
9. カウンセリングの基礎知識 (2) 基本原則。カウンセラーの役割。
10. ロールプレイ (1) 傾聴技法。
11. ロールプレイ (2) 保護者の訴えや望みを聴く。
12. ロールプレイ (3) 保護者の資源(長所)、これからの取り組み。
13. カウンセリングマインドに基づく教育・保育活動 (1) 幼児への支援。
14. カウンセリングマインドに基づく教育・保育活動 (2) 保護者への支援。
15. まとめのレポート作成

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、事前配布資料を読み、重要語句(2語程度)の定義を書くこと。事後学習として、配布プリントを復習し、学んだことをプリントにを記入すること。

●成績評価方法・基準

各回の報告書（50%）、レポート試験（50%）により評価する。

●テキスト（必携）
特になし。

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意
授業に欠席・遅刻しないこと。求められた課題は必ず提出すること。各回の報告書は、期末に提出することになるので、確実に保管すること。